

2025 南日本新聞社の事業

大迫力 多彩な演技



3月10日まで開催中

鹿児島市・ドルフィンポート跡地



鹿児島市のドルフィンポート跡地で開催中の世界三大サーカスの一つ、鹿児島市制135周年記念「木下大サーカス鹿児島公演」。昨年未だから多くの家族連れや帰省客らが連日会場に詰めかけ、多彩な演技に「すごい」「驚いた」と、手に汗握る緊張感と興奮を満喫している。

創立122年の歴史を誇る世界最先端のパフォーマンスは、大興奮で時がたつのも忘れるような約2時間の充実したプログラムで観客を魅了する。

子どもたちに大人気のポニーやゾウの愛らしい演技に心を癒やされたかと思えば、高さ約15mの空中大車輪で命綱を付けずに2人が離れ技を見せる「ウイール・オブ・デス」や、オートバイ3台が直径約7mの球状の金網の中を爆音を上げて走り回るショーでは、ハラハラ、ドキドキの迫力で観客を圧倒。目隠しで進む「ダブル空中ブランコ」で、盛り上がりは最高潮に達する。

雄大な校島を背に7年ぶりに帰ってきた夢と感動のステージは、高貴の音響やカラフルな照明の演出もグレードアップ。パフォーマーではない、目の前で繰り広げられるリアルなイリュージョンをお見逃しなく。

会期は3月10日まで。当日券より500円引きのお得な前売り券を絶賛発売中。

木下サーカスお薦めの心を打つパフォーマンスの中から、見どころの一部を紹介する。



■ ハンドスタンディングアクト

スポットライトに照らされた肉体美と柔軟で、強靱な体幹は、まさに芸術品。積み上げた揺れるブロックの上で倒立などをするバランス芸は、手をはたらき落とす恐れもあるため張り詰めた空気が漂う。



■ ぐんぐんはじ

屈強な演者の肩に乗せたはじを、笑顔の演者がスルスルと登り着くと、はじの片方がバラバラと崩れて1本の竹になった。今にも倒れそうな竹を支える軽々と空中でポーズをとる上乗。代々受け継がれてきた和芸に注目だ。(不定期演出)



■ ハイスピードローラースケートイン

ローラースケートを履いた2人の男女が円卓の舞台に上がり、女性が首にしがみつくと男性は徐々に回転を始める。間もなく目が回るほどの高速回転になり、今にも女性が吹き飛ばされそうなスピード感は圧巻。(不定期演出)

◆ 前売り券なら500円お得

木下大サーカスのチケットを購入するなら、当日券より500円引きと断然お得な前売り券を好評発売中。自由席なら、おとな3500円(当日4000円)、大学生・専門学生(南日



本新聞販売所とコンビニのみ販売)は2500円(同3000円)、こども(3歳以上高校生まで)は2000円(同2500円)。

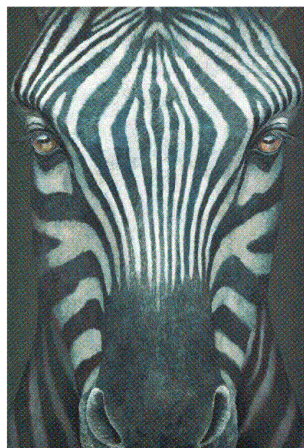
詳細は木下大サーカス鹿児島公演事務局＝099(201)9000。QRコードも参照ください。

絹谷幸二親子三人展

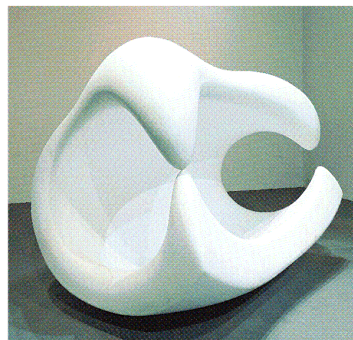
豊かな色彩 国内初開催

鹿児島市立美術館

3月22日～5月6日



「瞳のさきに潜む思い Zebra」(2022年・絹谷香菜子)



「Pie tra di Paranel」(2006年・絹谷幸太)

日本の画壇をけん引する洋画家で、文化勲章受章者の絹谷幸二氏(81)と、長男で彫刻家の絹谷幸太氏(39)、次女で日本画家の絹谷香菜子氏(39)による「絹谷幸二親子三人展」を、3月22日～5月6日まで鹿児島市立美術館で開催する。南日本美術展の審査委員を2011(平成23)年から務める幸二氏が、鹿児島に深い愛情を持っていることから全国初の親子三人展開催が決まった。光學堂特別協賛。

1943(昭和18)年生まれ、幸二氏は東京芸術大学でフレスコ画に出会い、イタリヤに留学。独自の境地を切り開き、最年少で画壇の芥川賞といわれる「安井賞」を受賞した。2016(平成28)年には大阪市の梅田スカイビルに絹谷幸二天空美術館を開館。フレスコ画のカテゴリにとどまらず、大胆な構図と色使い、ポップな仕掛けに挑戦するなど、現代的具象画の創作に80歳を超えてもなお精力的に活動する。

1997(平成9)年には長野冬季五輪公式ポスターの原画「銀嶺の女神」を制作。豊かな色彩がめづる画面は「絹谷ワールド」ともいわれ、国内はもちろん海外でも人気が高い。

今回、幸二氏と香菜子氏との共作である「生命輝く」、幸二氏の代表作「蒼天富嶺龍宝図」や校島を描いた新作のほか、幸太氏や香菜子氏の作品など計約70点を展示予定。国内外の幅広い世代の絹谷ファンから、注目を集める展覧会となりそう。



「蒼天富嶺龍宝図」(2009年・絹谷幸二)

【絹谷幸二氏経歴】

1943(昭和18)年	奈良市に生まれる
1966(昭和41)年	東京芸術大学油絵科卒業
1967(昭和42)年	1968(昭和43)年 独立賞受賞(23歳、24歳)
1974(昭和49)年	「アンセルモ氏の肖像」で安井賞受賞(31歳)
1987(昭和62)年	日本芸術大賞受賞(44歳)
2001(平成13)年	日本芸術院会員(58歳)
2014(平成26)年	文化功労者(71歳)
2016(平成28)年	大阪市に「絹谷幸二天空美術館」が開館(73歳)
2021(令和3)年	文化勲章受章(78歳)



※イベントは主催者や企画会社、出演者などの都合により、内容や日程、タイムスケジュールが変更になる場合があります。お問い合わせは南日本新聞社事業部099(813)5052(午前10時～午後5時、土・日・祝日を除く)

Xアカウント



Instagram



南日本新聞社事業部

紙面編集・三宅太郎

絹谷幸二親子三人展

絹谷幸太 絹谷香菜子

2025.3.22(土)～5.6(火)

3月24日・31日・4月7日・14日・21日は休館 / 9:30～18:00(入場は17:30まで)

鹿児島市立美術館 鹿児島市 城山町4-36



銀嶺の女神 (1997年) 長野冬季五輪公式ポスター原画

文化勲章受章者 / 南日本美術展審査委員

国内外ファン待望 全国初開催!

1月17日(金)から 前売り券発売開始

入場料		プレイガイド	
大学・一般	前売り 1,300円 (当日 1,500円)	山形屋プレイガイド、コープかごしま各店舗、Aコープ主要店舗、マルヤガーデンズ、ブックス	ミスマジック、南日本新聞販売所(一部除く)、高木商店、集景堂、ファミリーマート、チケットぴあ(Pコード687-120)、セブンイレブン(セブンコード108-380)、ローソン(Lコード81388)ほか
中学・高校生	前売り 600円 (当日 800円)		
小学生	前売り 300円 (当日 500円)		

主催：南日本新聞社 鹿児島市立美術館

特別協賛：光学堂 協賛：日本ガス(株)竹添不動産

協力：積水ハウス株式会社 / 関ヶ原石材株式会社 / 有限会社武田石材 / 出雲光 / 清川照美 / 絹谷幸二 天空美術館

お問い合わせ：南日本新聞社 事業部 Tel.099-813-5053 10:00～17:00(土・日・祝を除く)



ヴェネツィア朝陽・希望(2006年)



南日本新聞社事業部 SNS アカウント

Instagram X(旧Twitter)